



マイタウン・マイドクター

保存版

大腸がんは近年、急激に増加しているがんの一つで、死者数は年間5万人にも及びます。消化器がんの中には、脾臓がんなど5年生存率が低い難治がんもありますが、大腸がんは早期に発見できれば、完治も見込めるがんです。では、どうしてこんなに死亡率が高いのでしょうか？それは、早期がんの多くは無症状で、血便などの症状が出て受診した時には、すでにかなり進行してしまっているケースが少なくないからです。手遅れにならないために何よりも重要なのは、「症状がないうち」にがんを見つけておくことです。

大腸がんについて教えてください。
大腸がんは近年、急激に増加しているがんの一つで、死者数は年間5万人にも及びます。消化器がんの中には、脾臓がんなど5年生存率が低い難治がんもありますが、大腸がんは早期に発見できれば、完治も見込めるがんです。では、どうしてこんなに死亡率が高いのでしょうか？それは、早期がんの多くは無症状で、血便などの症状が出て受診した時には、すでにかなり進行してしまっているケースが少なくないからです。手遅れにならないために何よりも重要なのは、「症状がないうち」にがんを見つけておくことです。

早期発見できますか？
何も自覚症状がなくても定期的に検査を受けることで、言い換えれば、検査を受けない限り大腸がんを早期に見つけることはできません。検査の中で最も診断精度の高いものは「大腸内視鏡検査（大腸カメラ）」です。臓器の中を見ながら行う検査なので、病変の見落としのリスクが低く、疑わしい病変が見つかれば、そのままその場で組織がとれることも大きな利点です。また、一定の頻度でがん化する恐れのあるポリープの切除も可能で、検査・診断・治療・予防を兼ね備えた優れた検査法といえます。

大腸カメラは痛い、辛いというイメージがあるのですが。
前提として大腸カメラは技術習得が難しく、医師の経験と技量の差が出やすい分野です。病変の発見には確かな知識と実践に基づいた観察力が必要です。また、患者さんの苦痛を可能な限り軽減するには高度な内視鏡挿入技術と丁寧な細やかな工夫が求められます。熟練した医師であれば痛みや不快感をほとんど感じさせません。挿入と検査で特に異常がなければ10分程度で終わります。また、鎮静剤や鎮痛剤を用いて患者さんが眠っているうちに検査を終わらせる、より苦痛を少なくする方法も行われています。

検査を受ける時期、間隔など、アドバイスをお願いします。
日本では、大腸がん検診の受診率や、検診で精密検査が必要とされた人の二次検査の受診率は、いまだに低く、死亡率を増やし続けています。その中でも、残念ながら札幌は全国的に低い都市となっており、定期的な検査こそが、大腸がんを死なせないための最も有効な手段であることをどうやら忘れないうちに「治せるがん」で死ぬのは、本当にもったいないことです。大腸カメラは40歳を過ぎたら症状がなくても「まずは一度、それ以降は1年〜数年ごとの定期的な検査をお勧めします。」

切らずに治す、いぼ痔の最新治療教えてください。
痔はいぼ痔、切れ痔、痔ろうの3つに大きく分けられますが、最も多いのは、肛門の内側がうっ血し、いぼのようには膨らんだ状態のいぼ痔です。いぼ痔は主に、排便時に強いききむなどして肛門内側の血流が悪くなるのが原因で起きます。初期の段階では、塗り薬や座薬で症状を抑えたり、生活習慣を見直して便秘や下痢を解消したり、おしりを清潔にししたりすることで改善が見込めます。ただ、いぼ痔は進行すると、出血を繰り返したり、肛門の外に出してしまう脱肛を起すようになり、こういった症状が出ると、より専門的な治療が必要で、切らずに治す注射療法と、外科手術があります。

切らずに治せるのですね。
「ALTA（アルタ）」四段階注射法」といいます。薬剤を病変に直接注射していぼを小さくする方法で、メスをいぼをいぼでなく、多くのケースが日帰りで治療可能ですが、患者さんの心身の負担が外科手術に比べて軽く、副作用や合併症の危険もほとんどない優れた治療法です。ただし、適切な治療には高度な知識や技術が要求されるため、施行には厳しい資格審査が設けられており、どの医療機関でも受けられる治療ではありません。いぼが大きすぎる場合など、ALTA（アルタ）四段階注射法では改善できない症例では、外科手術での切除を検討します。外科手術も新しい術式が登場し、治療の幅は広がっています。

痔の予防法はありますか？
排便習慣の改善が一番の予防となります。最も重要なのは、排便時には強く、長くいきまないこと。おしりに負担をかけない排便は、まず便意が起ってからトイレに行き、さほどがんばったり力んだりせず、5秒ぐらしかけて自然に勝手に便が出る、そんなイメージです。肛門から出血した場合、大腸からの出血も疑われます。ただの痔だと思わず、大腸がんが見つかるといったケースは決して珍しくありません。また、潰瘍性大腸炎やクローン病が見つかるケースも増えています。このように、おしりの出血の後ろには、痔以外にもいろいろある病気が隠れていることがありますので、大腸カメラの受診が望まれます。大切なことは、自分で判断しないこと。排便時に異常や違和感があれば、迷わず受診してください。

胃カメラ・大腸カメラ 夜間診療 土日診療
●ピロリ菌除菌治療 ●痔の治療 ●高血圧症・糖尿病・高脂血症・高尿酸血症の治療 ●禁煙治療



札幌市北区北7条西5丁目7番1号
第27ビッグ札幌北スカイビル4F
TEL:011-700-1110

豊平区月寒東3条11丁目1-36 BRANCH札幌月寒 メディカルスクエア1F
(月寒グリーンロード 西469台) ☎(011)857-0055

「BRANCH札幌月寒」医療モールに眼科開院。日帰り白内障手術を実施。

「来てよかった!」と感じられる診療を心がけています。日帰り白内障手術をはじめ、緑内障のOCT検査・レーザー治療、加齢黄斑変性の注射治療など専門的な治療を行っています。眼に関することは何でもご相談ください。共用駐車場469台ございますので、お車での来院が便利です。予約なしでも受診できますが、電話予約やホームページからのweb予約も可能です。スタッフ共々暖かくお迎えいたします。お気軽にご来院ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	△	●	●	●
14:00~17:30	●	●	-	●	●	-
17:30~18:30	-	●	-	-	-	-

△手術・予約診療のみ ○13:00まで 休診日:日・祝

令和元年11月5日にオープンしました!!



中央区北4条西3丁目1 札幌駅前合同ビル9階(1階が北海道銀行のビルです)
☎(011)209-2241 肛門外科・内視鏡外科 http://tarumi-ki-cl.com

当クリニックでは、常に痔の治療方法を研鑽し、適正・確実・最新の医療技術を患者様に提供していくことを意識していきます。

痔は日本人に多い疾患ですが、恥ずかしいとか、忙しくて暇がないなどの理由から受診をためらっている方も多くいます。そのため交通の便が良い患者様を受診しやすいように、札幌駅前には痔と大腸を中心とした消化器専門のクリニックを開院させて頂きました。当クリニックでは自分のこれまでの知識、経験、技術から得た診療理念のもと、専門性の高い医療を提供し、全道の痔で悩む患者様のニーズに合った診療、検査、日帰り手術を行っていきたく思っております。

入院不要の治療・検査

痔の日帰り手術 (いぼ痔・切れ痔・痔瘻の手術)	いぼ痔の日帰り注射療法(ALTA注射) (切らずに内痔核を治す)
胃・大腸内視鏡検査 (胃がん大腸がんの早期発見) 日帰り胃・大腸カメラの同時施行も可能	大腸ポリープの 日帰りポリープ切除 (ポリープは内視鏡で切除)
胃ピロリ菌検査・治療 (胃がんの原因のピロリ菌)	※重症で入院手術が必要な場合は、連携病院にて院長が手術することも可能です。

診療時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:00 ● ● ● ● ● ● ●
15:30~17:00 ● ● ● ● ● ● ●
休診日:水曜日・祝日・学会日



北海道新聞 毎週水曜日夕刊掲載

メディカルガイド & マイタウン・マイドクター

医療機関の皆様、医療広告を大募集しております!

新聞とWEBのミックスで貴院と患者様をつなぎます。医療関連記事とのタイアップで注目度もアップ!!

メディカルガイド 北海道新聞 毎週水曜日夕刊掲載

WEB クリニック北海道 http://www.clinic-hokkaido.com/

WEB版は掲載無料!
月4回掲載、さらにWebと連動で注目度200%!!

【新聞版】
●発行日/北海道新聞 毎週水曜日夕刊(曜日は変更する場合がございます)
●掲載範囲/札幌市内近郊版(札幌市内全域・石狩市・北広島市他)
●体 裁/本紙一色刷り(スミ)
●掲載回数/毎月4回(5週月の最終水曜日は掲載なし)

【WEB版】
メディカルガイドWEB版、クリニック北海道です。掲載内容はメディカルガイドに順じます。道内医療機関の検索、医療記事のバックナンバーもご覧いただけます。

メディカルガイド 特別版 北海道新聞医療情報特集

マイタウン・マイドクター

年2回の病院特集企画。札幌市内各エリアの掲載で見やすくわかりやすい!

全体で約30万部の発行! 保存版でいつでも見られる!

カラー掲載でマップをつけて病院の場所をわかりやすく表示!

春・秋 年2回発行!

～お申し込み・お問い合わせは～
株式会社 英広社「メディカルガイド」または「マイタウン・マイドクター」係まで
札幌市中央区南3条西5丁目1番地1
TEL.011-261-4350 FAX.011-261-7886